



ブロック複写

指定範囲内の線/円・円弧/文字/画像/塗り潰し部を複写する(基本操作)

- (1) 複写する範囲の始点と終点を左クリックで指定する。
 - (2) 複写対象に追加、又は複写対象から除外する線や円・円弧を左クリックで、文字や画像、塗り潰し部を右クリックで指定する。(赤色で表示された物が複写対象です)
 - (3) 指定が終了したらサブメニュー[確定]をクリックする。
 - (4) 複写範囲の基準点をクリック[L or R]する。
 - (5) サブメニュー[方向]で複写方向を選択する。
 - (6) 複写先の位置をクリック[L or R]する。
- 《補足》複写範囲を追加するには、上記(3)で[確定]をクリックする前に、サブメニュー [範囲追加]をクリックし、追加分の範囲を指定します。
(離れた場所を同時に複写するときなどに便利です)
- 《補足2》2回目以降にはサブメニューに[前範囲]が表示され、クリックすると1つ前の範囲を指定します。(もう一度同じ範囲を複写し直すときなどに便利です)

指定範囲内の線/円・円弧/文字/画像/塗り潰し部を複数個複写する

- (1) 基本操作の(1)～(5)を行う。
- (2) 複写したい個数分、複写先の位置をクリック[L or R]する。
《備考》等間隔に複写したい場合は上記(2)の操作時にサブメニュー[等間隔の継続複写] (1個目の複写以降に表示)を複写したい個数分、クリックします。

指定範囲内の線/円・円弧/画像/塗り潰し部を拡大・縮小して複写する

- (1) 基本操作の(1)～(4)を行う。
- (2) サブメニュー[拡大率]をクリックし、拡大・縮小率(1=100%,0.5=50%)を入力する。
(縦横の倍率を変更する場合は 横倍率,縦倍率 の様に カンマ(,)で区切る)
- (3) 複写先の位置をクリック[L or R]する。
《注意》文字は拡大・縮小の対象外です。

指定範囲内の線/円・円弧/文字/塗り潰し部を回転して複写する

- (1) 基本操作の(1)～(4)を行う。
- (2) サブメニュー[回転角]をクリックし、角度(°)を入力する。
- (3) 複写先の位置をクリック[L or R]する。

指定範囲内の線/円・円弧/文字/画像/塗り潰し部を指定量ずらして複写する

- (1) 基本操作の(1)～(3)を行う。
 - (2) サブメニュー[数値位置]をクリックし、相対位置(mm)を入力する。
(相対位置の入力は 横方向,縦方向 の様に カンマ(,)で区切る)
- 《例》相対位置に 500,-300 と入力すると指定範囲内のデータを右に500mm, 下に300mmずらして移動します。

指定範囲内の線/円・円弧/文字/塗り潰し部を指定した線を基準にして反転複写する

- (1)基本操作の(1)～(3)を行う。
- (2)サブメニュー[反転]をクリックする。
- (3)反転の基準とする線を左クリックする。

基準線を対象に選択した線/円・円弧/文字を複写する

- (1)反転の基準にする線を右クリックする。
- (2)複写したい線や円・円弧を左クリックで、文字を右クリックで指定する。

選択したペン番号(色)線種だけを範囲指定で複写する Free

- (1)サブメニュー[線種指定]をクリックする。
- (2)複写したいペン番号(色)・線種を書き込みペン変更欄に表示させる。
- (3)複写する範囲の始点と終点を左クリックで指定する。
- (4)複写対象に追加、又は複写対象から除外する線や円・円弧を左クリックで、文字を右クリックで指定する。(赤色で表示された物が複写対象です)
- (5)指定が終了したらサブメニューの[確定]をクリックする。
- (6)基本操作の(4)～(6)を行う。

選択した文字サイズだけを範囲指定で複写する Free

- (1)サブメニュー[文字指定]をクリックする。
- (2)複写したい文字サイズをドロップダウンリスト(サブメニューバー左端の ボタン)から選択する。
- (3)複写する範囲の始点と終点を左クリックで指定する。
- (4)複写対象に追加、又は複写対象から除外する線や円・円弧を左クリックで、文字を右クリックで指定する。(赤色で表示された物が複写対象です)
- (5)指定が終了したらサブメニューの[確定]をクリックする。
- (6)基本操作の(4)～(6)を行う。

直線上へ複写する

- (1)基本操作の(1)～(3)を行う。
- (2)複写範囲の基準点をクリック[L or R]する。このとき、基準点としてとった側が直線へ接することになる。
- (3)サブメニュー[基準線指示]をクリックし、基準となる直線を左クリックする。
- (4)複写先の位置をクリック[L or R]する。

《注意》複写対象が画面に対して水平部分を持っていないとできません。

